

郡山市子ども・子育て会議意見交換会 会議録

【日時】

平成30年11月29日（木）午後2時00分～午後3時20分

【場所】

郡山市こども総合支援センター（ニコニコこども館）3階 研修室

【次第】

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) (仮称) 第2期郡山市ニコニコ子ども・子育てプランの策定に係るニーズ調査について
 - (2) 福島再生加速化交付金（福島定住等緊急支援）の実績評価について
 - (3) その他
- 3 その他
- 4 閉会

【出席委員】

10名（敬称略）

吾妻 利雄、大川原 順一、佐藤 俊幸、佐藤 広美、田中 喜仁、蛭田 さゆり、福内 浩明、
保住 キミ、増子 静江、安田 洋子

【欠席委員】

10名（敬称略）

滝田 良子、平栗 裕治、遠藤 将、太神 和廣、大槻 一雄、大和田 新、菅野 哲哉、
隅越 誠、峯 淳子、吉田 みね

【事務局職員】

18名

こども部：佐久間 信博（部長）、熊田 仁（次長）、橋本 裕樹（次長兼学校教育部次長）
こども未来課：井上 高志（課長補佐）、石田 佐和子（こども企画係長）、伊東 惣市
（青少年・放課後児童育成係長）、今井 辰哉（こども企画係主任）、
木村 祥一（こども企画係主査）
こども支援課：滝田 昌宏（課長）、穴戸 美恵子（課長補佐）、氏家 敦子（主任技査兼
母子保健係長）、岩崎 浩史（子育て支援係長）
こども育成課：松田 信三（課長）、伊東 洋祐（課長補佐）、橋本 徹（主任主査兼保育所
管理係長）、小松 究（主任主査兼保育認定係長）、結城 弘勝（主任主査
兼保育事業支援係長）、影山 誠（保育所管理係主任）
政策開発課：石橋 智之（主幹兼課長補佐）、高橋 雅彦（企画係主任）

【配布資料】

- ・資料1 （仮称）第2期郡山市ニコニコ子ども・子育てプランの策定に係るニーズ調査について
- ・資料2 福島再生加速化交付金（福島定住等緊急支援）の実績評価について

1 開会

(井上補佐)

定刻となったので、ただいまより「郡山市子ども・子育て会議」を開催する。

2 議事

【滝田会長及び平栗副会長が欠席であり、本日の会議の議長が不在であることから、委員の互選により吾妻委員が選任される。】

【議事の前に、事務局：井上補佐から本日使用する資料の確認がある】

(井上補佐)

それでは「議事」に移るが、以降の会議の進行については、吾妻委員に議長をお願いする。

(吾妻議長)

それでは、議長を務めさせていただく。

早速だが、「(1) (仮称) 第2期郡山市ニコニコ子ども・子育てプランの策定に係るニーズ調査について」事務局から説明願う。

【事務局：木村主査から、資料1に沿って説明がある】

(吾妻議長)

ただいまの事務局からの説明について、質問や意見はあるか？

(福内委員)

未就学児童用の調査票、問67で「満足している取組」と「今後期待する取組」を聞いているが、「今後期待する取組」というのは「不満がある取組」と捉えてよいのか？

アンケートの目的は現状を改善することである。

削除した設問では明確に満足度をきいており、保護者から不満に思っている部分を聞き取ることは大切なので、あやふやな質問は避けたほうがよい。

(事務局：木村主査)

委員の御意見のとおり、「不満に思っている取組」も併せて聞くよう修正する。

(安田委員)

「期待する」というニュアンスが分かりにくいという部分については、福内委員の言うとおりであり、「取り組んでほしい」といった、はっきり伝わる表現が良い。

また、上位3つまでを選択することとしているが、その順位をつける必要はないのか？

どの取組が一番需要が多いのかを具体的に聞いたほうが、よりニーズをつかめるのではないかと思う。

(事務局：熊田次長)

ここでは「今後の市の取組について」を聞いている。

委員の御意見を参考としながら、どの取組が一番需要があるのかといった順位付けについて検討する。

(大川原委員)

未就学児童、小学生の両方に、子どもの貧困の実態を把握する設問を設けているが、何をもって「子どもの貧困」とするのか分からない。

これは「この品物を持っていないと貧困です」ということなのか？

(事務局：木村主査)

子どもの貧困について、「何をもって貧困とするのか」ということは、他の自治体でも苦慮しているところである。

今回の設問を追加した意図としては、実態を把握したいということであり、「これを持っていないから貧困だ」というものではなく、一定の傾向を掴むためのものである。

(福内委員)

1週間のうち何回インスタント食品を口にしているのかや、子どもに食事を作ってあげられているかなど、違った聞き方があるのではないかと思う。

(事務局：熊田次長)

この設問は、他の自治体で聞いていた内容を基に追加しているが、内容について検討させていただきたい。

(増子委員)

未就学児童用の調査票、問17にある項目に「携帯電話（スマートフォンを含む）」とあるが、未就学児童に聞く内容か疑問である。

(事務局：木村主査)

当然ながら0，1，2歳が持っているとは当局としても考えてはいないが、小学生と未就学児童で比較できるように両方に同じ項目を設けた。

また、問2では子どもの年齢について聞いており、そこをクロス集計をすれば、何歳くらいから持ち始めるのかなどが分かってくる。

(安田委員)

未就学児童と小学生、同じ項目ではなく、年代に合わせた項目を設けるべきではないか？

また、貧困状態の把握については色々な聞き方があると思うので、例えば小学生では子どもが習い事をしているのかや、放課後の過ごし方など、もっと実態をつかめるような設問にした方がよいのではないか？

(事務局：木村主査)

小学生用の調査票、問18では、子どもの放課後の過ごし方について聞いている。

問13の年収とクロス集計をすれば実態が掴めると考えている。

(保住委員)

未就学児童用の調査票、問17の項目のあり方だが、何を意図してこの項目を羅列しているのかが分からない。

例えば「ゲーム機を持っていないから貧困だ」とは考えにくく、これらの項目と貧困の関連性が見い出せない。

安田委員の質問にもあったが、年代に合致していない項目もあり、小学生と比較する意義も分からないので、今一度検討し直してみても？

(事務局：木村主査)

安田、保住両委員からいただいた御意見を踏まえて、今一度検討したい。

(吾妻議長)

この調査票は本日配付されたものであり、この時間だけでは見きれないと思うので、持ち帰って再度内容を確認していただき、事務局から配付された意見書を提出するという
ことでよいか。

【委員から「異議なし」の声あり。】

(吾妻議長)

続いて、「(2) 福島再生加速化交付金（福島定住等緊急支援）の実績評価について」
事務局から説明願う。

【事務局：高橋主任から、資料2に沿って説明がある】

(吾妻議長)

これは、本日、評価をするということなのか？

(事務局：高橋主任)

まずは、ただ今の説明について質問や意見をお伺したい。

もし内容をよく確認したいということであれば、意見書を配付するので、後ほど評価
をいただきたい。

(佐藤委員)

目標1についてだが、平日、外で遊ぶ時間が年々減少している。

これは、放射性物質の問題以前に別な面での問題があると思う。

私の小学校においては、冬場の帰宅時間を午後4時、夏場は午後5時としているが、
高学年の下校時間が午後3時を超えており、なかなか外で遊ぶ時間を確保できないと
いう現状がある。

また、子どもの遊びの質が変わってきていることから、線量と直接結び付けられない
と感じている。

(保住委員)

目標3についてだが、佐藤委員が仰った運動の問題と並行して食生活の問題がある。

福島県栄養士会においても肥満対策を進めているところではあるが、運動だけでなく、
食事の面からの評価も必要ではないか？

(事務局：高橋主任)

当局としても、佐藤委員の仰られた遊びの質の問題、外遊びからインドアに移って
きていること、また、それに伴うスナック菓子などの甘い物の摂取が肥満傾向児の増加
につながっていると考えている。

今回は遊具の更新等の事業についての評価としてこれらの数値を使用しているが、
今後、委員から意見のあった複合的な理由についても継続してモニタリングできればと
考えている。

(福内委員)

今、実際に子育てをしている中で公園によく行くが、震災前に比べると遊具がかなり良いものになっているし、子どもたちも喜んでいる。

肥満に関して子どもにスポットが当たっているが、震災後、親が子どもと一緒に外に出なくなったことも原因としてあると思われる。

親が行かなければ子どもを連れて行かない。

対策として、親子と一緒に体を動かせる遊べる公園が整備されれば良い。

(事務局：熊田次長)

遊具の設置については、震災後の不安を取り除くために各所管課にお願いしながら進めたところであるが、委員の仰るとおりである。

市全体の取り組みとして検討していきたい。

(吾妻議長)

保育状況から申し上げると、以前は子どもの運動遊びに関するデータ収集をしていなかったが、震災を期に実施している。

また、一人ひとりの子どもの結果をフローチャートにして保護者へ配付するなど、肥満や運動不足などについて保育園や保護者の認識が改善されてきている。

この交付金はいつまでなのか？

(事務局：高橋主任)

平成29年度のプールの整備をもって終了となっている。

(蛭田委員)

私は私立保育園の園長だが、震災後、屋内遊具について協力をいただき、大変充実したものになったが、屋外については0であった。

次の機会があれば、屋外遊具の整備についてお願いしたい。

(事務局：熊田次長)

今回の遊具については、交付金を活用し各施設に今までにない考え方で整備した。

今後も交付金などがあれば活用して子育て環境の整備に努めたい。

(佐藤委員)

肥満傾向の子どもが多いと感じた。

(田中委員)

近所なので八山田こども公園によく行くが、子どもはもちろんのこと、親も多く来ている印象があり非常に良いことである。

ストレス発散という観点からすると、外で大いに遊べる施設ができてよかったと感じる。

(吾妻議長)

委員の皆様には、後ほど気付いた点があれば意見書により御意見をいただきたいと思う。

続いて「(3) その他」だが、委員の皆様から何かあるか？

【特になし】

(吾妻議長)

事務局から何かあるか？

【熊田次長から、ニーズ調査票について、委員の意見を反映させた内容の確定や細かい修正は会長一任とし、事務局と会長とで調整していきたい旨を説明し、了承を得る。】

(吾妻議長)

全ての議事が終了したので、議長の職を解かせていただく。

3 その他

(井上補佐)

その他について何かあるか？

【特になし】

4 閉会

(井上補佐)

次回の会議は、先に配付している開催予定表のとおり、1月31日に開催したいと思う。
以上をもって、会議を終了する。

以 上